

History of Kato city

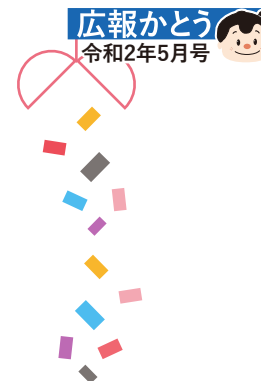
平成18年	3月	加東市誕生
	10月	のじぎく兵庫国体(アーチェリー競技)
平成19年	10月	『世界に一つ!加東遺産』を選定
平成20年	3月	加東市総合計画を策定
	4月	ケーブルテレビ市内全域放送開始
		市の花(コスモス)、市の木(桜)を選定
	11月	加東伝の助が誕生
平成21年	5月	庁舎統合について検討を開始
平成22年	8月	東条ジュニアバレーボールクラブが日本一に
平成23年	3月	加東市民憲章を制定
	4月	市制5周年記念式典を開催
平成24年	8月	現庁舎の建設工事を起工
	10月	自主運行バス「米田ふれあい号」運行開始
		国宝朝光寺本堂の保存修理が完了
平成25年	6月	県内初の「日本酒による乾杯を推進する条例」を施行
	12月	現市役所庁舎が完成
平成26年	4月	自主運行バス「きよみずバス」運行開始
	11月	近畿圏内初の「手話言語条例」を制定
平成27年	6月	加東市オリジナル婚姻届を作成
平成28年	3月	市制10周年記念式典を開催
平成29年	4月	大相撲加東場所を開催
	4月	南山活性化支援施設『Mina-Kuru』がオープン

平成30年	2月	滝野温泉「ぼかぼ」の入浴者数が300万人突破
	3月	加東消防署の新庁舎が完成
	4月	加東市消防団 加東市役所分団を結成
		東条地域小中一貫校の基本設計がまとまる
	3月	第2次加東市総合計画を策定
	9月	加東市×多摩美術大学美術館「特別展 神仏 心願の地」を東京都で開催
	11月	加東伝の助がゆるキャラグランプリで県内1位に
平成31年 (令和元年)	3月	河高地区安取雨水ポンプ場完成
		加東みらいこども園が完成
	4月	自主運行バス「東条あいあいバス」運行開始
	5月	「令和」に改元。様々な記念行事を開催
	8月	社中学校サッカー部が全国大会に出場



15th Anniversary of Kato City 加東市 市制15周年 加東市は15歳になります

平成18年3月20日に誕生した加東市は、
令和3年3月に市制15周年を迎えます。



広報かとう創刊号の表紙は、
加東市役所 社庁舎の開庁式典の様子。



広報かとう
創刊号

創刊号では、市役所 社庁舎、滝野庁舎、東条庁舎の3庁舎で行われた開庁式典の様子などを紹介しました。市が誕生した当時は、3庁舎に分かれた「分庁方式」で、市の行政を運営していました。

平成20年11月
市マスコット「加東伝の助」が誕生



全国から一般公募を行い、寄せられた157点のなかから選ばれた「加東伝の助」。加東市に釣り針の技術を伝えた小寺彦兵衛翁を題材として、誕生しました。「伝の助」という名前には、「昔の伝統文化を今に伝える」、「今の良いものを未来に伝える」といった願いがこめられています。



平成26年2月
現在の市役所庁舎での業務を開始



「『住みよいまち 加東市』に相応しい、人とまちと地球にやさしい市庁舎」を基本コンセプトに、平成24年8月に起工した現庁舎は、平成26年2月に竣工式を迎え、全業務を開始しました。

「開放的で自由度の高い空間構成」や「全ての市民に快適なユニバーサルデザイン」などに配慮し、設計、建設した現庁舎は、様々なイベントやセミナーの会場となっているほか、1階 ロビーで、勉強する高校生の姿や、会話に花を咲かせる方々の姿が見られるなど、地域の憩いの場としても、貢献しています。

平成29年4月
大相撲加東場所を開催



市制10周年記念事業の一環として、平成29年4月に滝野総合公園体育館「スカイピア」で、大相撲加東場所を開催。1,700人の観客が、拍手喝采で来訪した150人の力士たちを迎えました。

当日は、力士が取組を披露したほか、市内の子どもたちに稽古をつけるなど、来場されたみなさんの思い出として、語り継がれています。

One Point!!

加東市が誕生するまで

平成11年頃、人口減少、少子高齢化等の社会情勢の変化、地方分権の担い手となる基礎自治体にふさわしい行財政基盤の確立のため、国により市町村合併が推進されていました。

当時の加東郡(社町、滝野町、東条町)においても、平成15年4月1日に「加東郡合併協議会」が発足。以来、旧3町長のもと、数々の分科会が立ち上げられ、合併後の運営や、様々な課題をどうするかについて協議されました。協議の結果は、加東郡合併協議会だよりや同協議会のホームページを通じて住民のみなさんに届けられました。また、住民説明会も複数回開催され、住民のみなさんの意見を取り入れながら、3町の合併に向けた協議が進められました。3つの町を1つの市にすることは、一筋縄ではいきませんでした。同協議会では、着実に建設的な議論が進められ、平成18年3月、ついに加東市が誕生しました。



▲加東郡合併協議会のホームページ
開催した会議の詳細のほか、寄せられた意見を紹介し、返信するなど、住民のみなさんのご理解を得るために、細やかに運営されていました。